

特集：下水道事業

かえ きれいな水に還す

清潔で快適な生活環境の確保や水の循環を守るなど、私たちの身近な居住環境から地球的環境規模まで、広く、深い関わりをもつ下水道事業。

今号では、下水道の役割や仕組み、私たちのまちの下水道事業の進捗状況などをお知らせします。

下水道の役割とは 何だろうか

私たちのまち登別市では、下水道の普及に向けて、毎年、下水道の整備を進めています。

みなさんが生活している地域に下水道が整備されると、生活環境が向上する一方で、受益者負担金やトイレの水洗化などに伴う工事費用、毎月下水道料金など、新たな負担も生じてきます。

このような負担を考えると、みなさんの中には、下水道整備の必要性に疑問をもつ方もいるのではないのでしょうか。

それでは、なぜ下水道が必要なのか、その役割について、考えてみましょう。

水は、雨として空から降り、川となり海に注がれ、それが蒸発し雲となり、また雨として地上に降ります。このように、水は自然の循環を繰り返しています。

私たちの生活は、この水を利用しなければ成り立ちません。

浴室や洗濯、台所、トイレなどで使われた水や工場などで使われた水などは、きれいにしなければ水の循環を壊してしまいます。

また、人間の体のおよそ70¹は水でできています。水の汚れは、自然の循環の中で、生き物にも影響を与えてしまうのです。

下水道とは、汚れた水をきれいに処理し川や海に戻すために設ける、下水道管、ポンプ場、終末処理場などの施設をいい、その主な役割には、次のようなことが挙げられます。

トイレや台所などの水が処理されることにより、蚊やハエ、あるいは悪臭などの発生源が少なくなり、清潔で快適な生活環境が確保されます。

家庭や工場で排出される汚水や廃水を処理場できれいにして流すので、川や海の水質の保全が図られます。

雨水を速やかに排水することにより浸水の被害が少なくなります。

また、最近では、下水処理水や雨水の再利用、処理水の水温を利用したヒーティング、建設資材としての下水道汚泥（1）の利用、下水道管の空間を利用した光ファイバー布設、処理場の空間を利用した公園など、省エネルギー・自然循環型社会や高度情報化社会などの要請にも貢献する道が開けてきています。

このように、下水道は私たちの身近な居住環境から地球的環境規模まで、広く、深く関わっており、私たちが生活する上で、必要不可欠なものとなっているのです。

1 下水道汚泥：終末処理場で微生物により分解され沈殿した堆積物のこと。